

富田町長（以下「町長」） あけましておめでとうございます。今日は、新春特別対談として素敵なゲストをお迎えしています。

松井一寿さん（以下「松井」） あけましておめでとうございます。松井一寿です。湯河原で生まれ育った22歳です。現在は横浜商科大学に在学中で、大学では観光学を専攻しています。湯河原に対する思いを形にしたいとの気持ちで勉強しています。

辻有沙さん（以下「辻」） はじめまして。辻有沙です。23歳のシンガーソングライターです。湯河原町を大好きになり、最近転入してきました。特に海が好きです。よろしく願います。

◆町長に会ってみたいの印象は？

松井 実はお嬢さんと同級生で、町長という立場の前に、お父さんのような存在です。そして、湯河原に来る人は町長を「格好良くてさわやか」だと言いますし、私もそう思います。

町長 それはうれしいお年玉ですね。松井さんは私の次女と同級生で、3年前の成人式で松井さんがはかま姿だったのを思い出します。

辻 私が初めてお会いした町長は浴衣姿で、その印象が強いです。女性の私からも町長は格好良くて、海パンにTシャツも似合いそうですね。今日のテーマは『未来予想図』ですが、一昨年前の夏に湯河原に引っ越してきたときの未来予想図には、今日この場にいるなんて全く描かれていなくて、今はあの時の未来予想図をはるかに超えた場所にいるんだと、そして、湯河原に来て良かったなと思っています。

町長 新春対談ということで、辻さんには素敵な着

物姿で来ていただきました。髪を結うのに湯河原を意識していただいたそうですね。

辻 湯河原スペシャルと名づけました。梅林が有名なので、花飾りは梅を中心に、そして、髪の流れを波のようにして、吉浜海岸をイメージしました。

町長 若い人が、髪形にこだわりを持って、湯河原への気持ちを込めてくれるという素敵な話を聞けるのも新春ならではのですね。

松井 なかなか女性の着物姿を見る機会がなく、成人式以来のことで少し緊張しますね。

辻 普段はジーンズ、Tシャツ、キャップ、スニーカーで、しかもギターを弾くときには足を組み、ボーイッシュなスタイルで音楽をやっています。今日は着物で少し気恥ずかしいですが、めったにない機会なのでうれしいです。

◆自分にとっての湯河原

松井 一言で言えば『日常』です。そして、この町に対して熱い気持ちを持って接していきたい。いわば恋人みたいな存在かもしれません。自宅から大学へは片道2時間かけて通っていますが、それは一つのこだわりで、観光学を学ぶ上でその足場は崩さないようにしています。

町長 授業が終わって湯河原に帰ってきたなと感じる瞬間はありますか。

松井 湯河原駅に着いて電車を降りたときに「空気が違う」と感じますね。

町長 私も同じで、都会から帰って来た時に、夏はさらっと、冬はあたたかいと感じます。それは、湯河原に住んでいる人には当たり前になって、そのあ

